

# 第5学年学級活動(2)指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時  
学 級：第5学年〇組〇名  
場 所：5年〇組教室  
授業者：〇〇 〇〇〇

## 1 題材 「その情報、本当？」

(出典：「はじめよう！デジタル・シティズンシップの授業」参考に改変)

### 学級活動(2) ア 基本的な生活習慣の形成

## 2 題材について

### (1) 児童の実態

本学級の児童は、友達と活発な議論を重ねながら学習を進めていくこともあるが、発言をする児童が偏る傾向にあり、全員の意見を十分に学級の中で練り上げていくことに課題がある。そこで1人1台端末を用い、発言することに抵抗のある児童も、自分の意見を学級に伝えていく授業を展開していくことに取り組んでいる。

### (2) 題材設定の理由

1人1台端末を学習のために使うことが当たり前になり、インターネットなどから情報を入手している児童が多い。しかし、このような情報の中には、科学的に不正確だったり、誤った理解で発信された「誤情報」や、意図的に発信された真実とは異なる「偽情報」が紛れ込んでいたりする場合がある。また、インターネットの情報は、誰もが自由に投稿できる性質上、正確ではない情報が流されている場合がある。その情報の真偽を確かめる手立てを身に付けることができるようにする。

## 3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

## 4 本時のねらい

インターネットの情報は、誰もが自由に投稿できる性質上、正確ではない情報が流されていることを理解し、その情報の真偽を確かめる手立てを身に付けることができるようにする。

## 5 本時のキーワード

・情報の真偽

その情報が本当の情報か、それとも偽物の情報か見分けること

## 6 本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿														
導入(つかむ)	<p>1. インターネットの情報を信じるかどうかチェックする。</p> <p>めあての提示</p>	<p>○実際のインターネット画面を見せて、信じてよい情報かどうかチェックする。</p> <p>○どのような手段を使って、情報の真偽を確かめるか確認する。</p>															
<p>情報が本当か、にせ物かを見分けるために、どのようにしたらよいか考えよう</p>																	
展開(さぐる)	<p>2. 六つの事例を基に情報の真偽を判断し、その根拠を明らかにする。 (ワークシート1)</p> <p>【情報の真偽】の言葉の定義を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で情報の真偽を確かめ、その理由を考える。</li> <li>グループで情報の真偽を確かめ、その後、もう一度情報の正誤を判断する。</li> </ul> <p style="background-color: yellow; display: inline-block; padding: 2px;">対話のポイント</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>出典</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①虚構新聞</td> <td>回転ずしの回る速さが分速120メートル</td> </tr> <tr> <td>②毎日新聞</td> <td>新型コロナ、新しい運動会</td> </tr> <tr> <td>③Twitter(個人名)</td> <td>高校野球予選の参加の訴え</td> </tr> <tr> <td>④Twitter(ハンドル名)</td> <td>巨大なえエビを釣り上げ、ギネス記録に</td> </tr> <tr> <td>⑤Twitter(栗東市)</td> <td>テレビ番組の予告</td> </tr> <tr> <td>⑥遠山里子「森林の働き」(本)</td> <td>日本全体の面積の約7割が森林</td> </tr> </tbody> </table> <p>○インターネット上の情報は、実際の記事や写真などを提示し、信ぴょう性を持たせた情報を提示する。</p> <p>○どの情報が正しく、どの情報が間違っているのか、その理由(根拠)を考えることで、はっきりさせるようにする。</p> <p>○グループで話し合い、友達の理由を聞くことで、もう一度情報の正誤を判断できるようにする。</p> <p>○正しい情報を見つけるために、友達の意見を聞くほかに、ど</p>	出典	内容	①虚構新聞	回転ずしの回る速さが分速120メートル	②毎日新聞	新型コロナ、新しい運動会	③Twitter(個人名)	高校野球予選の参加の訴え	④Twitter(ハンドル名)	巨大なえエビを釣り上げ、ギネス記録に	⑤Twitter(栗東市)	テレビ番組の予告	⑥遠山里子「森林の働き」(本)	日本全体の面積の約7割が森林	
出典	内容																
①虚構新聞	回転ずしの回る速さが分速120メートル																
②毎日新聞	新型コロナ、新しい運動会																
③Twitter(個人名)	高校野球予選の参加の訴え																
④Twitter(ハンドル名)	巨大なえエビを釣り上げ、ギネス記録に																
⑤Twitter(栗東市)	テレビ番組の予告																
⑥遠山里子「森林の働き」(本)	日本全体の面積の約7割が森林																

<p>(見つける)</p>	<p>3. 発信者は、なぜこのような情報をインターネット上に流したのか、考える。</p>	<p>のような手立てで判断するとよいか考えられるようにする。 ○六つの情報の真偽を児童に伝える。 ○インターネット上に情報を流す発信者の背景を考慮することで、様々な人の思いがあることがわかるようにする。</p>	
<p>まとめ(決める)</p>	<p><b>対話のポイント</b></p> <p>4. 様々な情報を受け取る時、自分はどのように行動するとよいか考える。</p> <p>5. 今日の振り返りをする。 (ワークシート2) ・インターネットで行動するときの三つの合言葉を確認する。</p>	<p><b>感情を確認</b></p> <p><b>原因を特定</b></p> <p>○インターネットで行動するときは、「立ち止まる」「(どうすればいいか)考える、(困ったときは)相談する」を大事にすることを伝える。</p> <p><b>対応を検討</b></p> <p>○今日の学習で大事だと思ったことをワークシートに記入できるようにする。 ○情報を受け取る時、それが真偽どちらのものもあることを知ること、どのように対処していくとよいか考えられるようにする。</p> <p><b>行動の準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の真偽を確かめること。</li> <li>・楽しませようとしている情報や、思いや願いが込められている情報もある。</li> <li>・情報を見極めることが大事。</li> </ul>	